08 参加者の自己紹介Ⅲ

杉田さんと小林さん

に津波警報が出たということで、沖縄も去年位から意識が高まり始めたので、行政やいろいろなところから依頼を受けて、避難検証ですとか、そういうことを昨年はやってきました。情報が届かないという課題がありますので、手話を使っての津波と地震のお知らせ、それから外国の方たちが沖縄に引っ越してきて増加率が高いのですね。なので７言語の言葉で津波と地震の避難を呼びかけるプログラムを去年は作ったりもしました。

今年は、地域の意識を高めていこうということで、この資料にもあるのですが、沖縄と沖縄の離島である宮古島というところで地域の方とつながりをつくるための研修から４回連続企画で、防災の課題を自分たちで発見して改善していくための社会や行政への提言というところまで、そういうプログラムを今年は展開しようと思っています。

私は琉球大学と沖縄国際大学で社会保障を教えているのですが、その教え子の４年生の２人を今日は一緒に連れてきました。２人も私の団体でボランティアをいろいろしてくれていますので、昨年、今年と福島の第一原発からの避難のあたりとか、岩手、宮城も続けていろいろ行っているのですが、今年は加えて、内灘社協の知人を介して能登半島のいろいろなところでお話を聞かせていただこうと思って来た次第ですので、どうぞよろしくお願いします。